



特定非営利活動法人グリーンバレー理事長 大南信也

生まれ方による3つのパターン

- ① 自生型（徳島県神山町）
 - 人のネットワークにより自然発生
 - 誘致の主体：民間団体（グリーンバレー）
- ② Uターン型（徳島県美波町）
 - 進出企業経営者等が地元出身者
 - 誘致の主体：民間進出企業（サイファータック）
- ③ Iターン型（徳島県三好市）
 - 視察ツアー等による新たな関係構築
 - 誘致の主体：自治体（三好市役所・徳島県西部県民局）

【推奨パターン】 ② Uターン型

※ 地元出身のITベンチャー経営者、あるいはその人の持つネットワークの中で推進主体となる人材を発掘。

とくしまサテライトオフィス・プロモーション会議

プロモーション会議とは？

進出企業、中間支援組織（NPO等）、行政（徳島県、関係市町村）など、サテライトオフィスプロジェクトのメンバー同士の情報共有を主な意図にしています。徳島県庁、徳島県東京本部、進出企業などをテレビ会議で結び、各地で活動している出席者が近況を報告し、意見交換を行うもの。通常2ヶ月に程度開催されている。

●会議の様子はすべてマスコミに公開

- ・ニュースバリューのある情報が出されるため、マスコミ各社の関心も高く、読売、朝日、日経など主要全国紙や徳島新聞、NHKや四国放送などのテレビ局で報道される。

●プレスリリース資料を用意し、徳島県から報道各社に配布

- ・〇〇国際特許事務所のサテライトオフィス設置について
- ・開設を決めた理由や経緯
- ・当面の活動の展望

●課題解決の場

- ・カーシェア制度
- ・格安航空券手配サービス

広報および周知の方法

●視察ツアー

- ・自治体、中間支援組織、進出企業、経営コンサルタント会社などが主催。各地のオフィスを訪れ、進出企業のオフィス滞在者や経営者、自治体関係者との懇談会を開催している。

●お試しオフィス滞在

- ・県内各地にあるお試し施設に滞在しながら、テレワークの展開に向けての生活面を含めた問題点の検証をしてもらう。

●広報イベントの実施

- ・年数回の頻度で、徳島県庁、民間経営コンサルタント会社等が主催し、東京、大阪、名古屋などの大都市圏に本社を持つ企業に対して、テレワークの可能性やワークスタイル変化への対応の必要性をアピールしている。

●マスコミやネット、SNSによる情報発信

※視察者による発信や口コミ効果が意外と大きい。不特定多数者の発信によって、テレワークに対する思い込みを変える可能性。

I N A K A オフィス・コンシェルジュ事業

●相談窓口の設置

- ・利用可能な古民家情報の提供、移動手段の確保など進出企業獲得に向けた相談窓口を設置する。

●視察&マッチングツアーの実施

- ・プロモーションチームが企画するツアー実施に向けた支援を行う。

●とくしまサテライトオフィスの魅力発信イベントの実施

- ・フェイスブックやホームページに加え、報道機関の取材や自治体などの視察受け入れ対応をすることで、とくしまサテライトオフィスの魅力を全国に情報発信する。

●オフィス誘致支援活動

- ・コンシェルジュにより得た情報や誘致ノウハウを移住・交流に熱心な他の地域に伝え、とくしまサテライトオフィスの全県展開に向け活動する。

※2014年視察者数（358団体・2,130名）

サテライトオフィス開設事業者への支援制度

●SOHO事業者等への支援

「ふるさとクリエイティブ・SOHO事業者誘致事業補助金」

県内の過疎町村でクリエイティブ事業又はSOHO事業を営もうとする事業者に対して、事務所の開設費用等必要な経費について助成。

●情報通信関連事業者への支援

「情報通信関連事業立地促進補助金」

県内に情報通信関連事業所を設置する企業に対して、新規地元雇用者に対する助成など。

●市町村への支援

「ふるさとクリエイター・テレワーク施設等導入促進整備事業補助金」

過疎町村が、県外のクリエイターやSOHO事業者等を誘致するために、サテライトオフィス等として貸与する家屋・廃校舎等の増改築等に要する経費を補助。

●耐震化工事・リフォーム工事への支援

「住まいの安全・安心なリフォーム支援事業補助金」

「徳島県耐震改修支援事業補助金」

※徳島サテライトオフィス・プロモーションサイト

<http://www.tokushima-workingstyles.com/system/>